東陽病院だより

健康ウォッチング

東陽病院　院長　伊藤　文憲

頭痛について

今回は頭痛のお話です。大勢の人を悩ましている症状の代表です。頭痛には軽いものから重度まで千差万別です。重い痛み、鈍い痛み、持続する痛み、肩や手に広がる痛みなど多彩な症状があります。

頭痛は頭部に明らかな基礎疾患が無く頭痛のみを主症状とする一次性頭痛と何らかの基礎疾患を有する二次性頭痛に分けられます。

一次性頭痛は慢性の頭痛（いわゆる頭痛持ち）の代表的な病気です。しかし、その正確な発病機序は不明なことが多く機能性頭痛とも呼ばれています。国際分類や日本神経学会などで緊張型頭痛（約50％）、片頭痛（約30％）、群発頭痛その他に分類されています。薬物療法にて治療がなされますが、難治性のことが多い疾患です。

二次性頭痛は明らかな基礎疾患をもつ頭痛です。脳の外（頭蓋骨の外）の病気による頭痛は外傷による場合（たんこぶや切り傷）または帯状疱疹やその他の湿疹等の皮膚病変によるものです。これらは目に見えるので診断は容易です。まれに、頸椎が原因で側頭部や肩・手に痛みを生ずることもあります。

一方、頭蓋内の病変による頭痛は油断が出来ません。代表的な疾患はくも膜下出血です。発作的に強い頭痛が起こり、吐き気やめまいを伴います。手足の麻痺は起こりませんが、血圧が上昇し、重症感があります。直ちに医療機関を受診し、頭部のＣＴ検査が必要です。診断の確定後には脳外科のある施設に転院する必要があります。原因の大半は脳動脈瘤の破裂ですので、外科的切除やカテーテルを用いた治療が必要です。

脳出血は血圧の急上昇により発症する例が多く、頭痛に加えて四肢のシビレ感や麻痺がみられ、頭部ＣＴにより診断されます。血圧の管理が最重要です。

脳梗塞では頭痛は軽度ですが、四肢の脱力感やシビレ感、麻痺により異常を感じて受診する例がほとんどです。ＣＴ検査でも発作直後は異常が無く、臨床症状と身体所見から脳梗塞と診断され、入院後のＣＴにて病変が明確になる場合があります。早期の治療の開始により改善することがありますので、適確な診断が必要です。

頭痛に高熱や意識障害を伴った場合は髄膜炎や脳炎などが考えられます。細菌性やウイルス性の感染症では適切な薬物治療がなされないと致命的になります。軽快しても後遺症が残る場合があります。

頭痛は多くみられる症状です。大半は一次性の頭痛として薬物による対症療法が行われていますが、二次性頭痛との鑑別が必要な場合もあります。軽度でも持続する頭痛では必ず頭部ＣＴ検査を受けましょう。

東陽病院　☎84―1335

地域安全ニュース

【ワンクリックサイトに要注意！】

『ワンクリックサイト』とは、迷惑メールに記載されているＵＲＬやホームページ上の「入口」表示等をワンクリックしただけで、自動的に着メロや待ち受け画面のダウンロードサイト等へ登録されてしまい、それを理由に代金の支払いを要求する悪質なサイトのことです。それらは、無料をうたっていたり雑誌で紹介されていることもあります。

※ＵＲＬをワンクリックすると・・・

〔登録完了〕
会員登録有難うございました。本日より３日以内に登録料３万円をお振込み下さい・・・
○○銀行××支店
口座番号＊＊＊＊＊

▲携帯の画面

◎事例

携帯電話に着信した迷惑メールを削除しようとして、操作を誤ってメール内のＵＲＬをクリックしてしまったところ、会員登録を請求するメールが送られて来ました。支払わなければならないでしょうか。

◎アドバイス

このケースでは、契約内容を承諾して申し込んだ訳ではないので、契約が成立したとは言えません。

したがって、**支払の義務はありません。**

※登録完了通知には、あなたの携帯電話の個人識別番号や機種名などが表示されることがありますが、それらの情報だけで業者への個人情報が漏れてしまうことはありません。

業者への連絡や請求金額を支払うことはしないようにしましょう。一度払ってしまうと、次々と請求される可能性があります。

※すでに支払ってしまった場合や、脅迫めいた取立てを受けた場合は、警察署にご相談ください。

▼成東警察署
☎０４７５―８２―０１１０